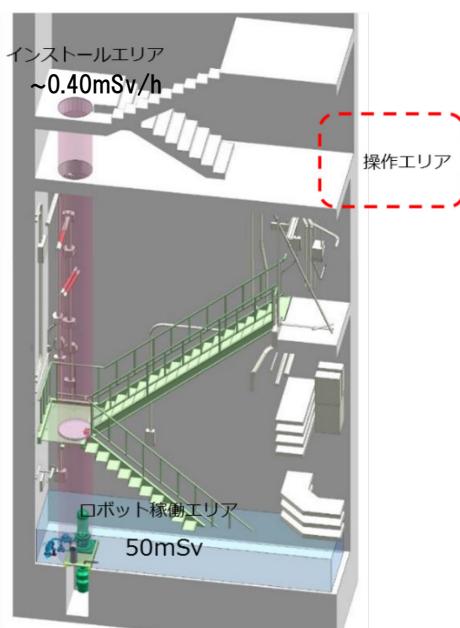


場 所		分 類								
原子炉建屋内	R B	T B	1 時間	被ばく低減対策好事例集						
タービン建屋内	T B		② 距離							
R ZONE	R		3 遮へい							
Y ZONE	Y		4 線源の除去							
G ZONE	G		⑤ 遠隔、ロボット化							
その他	Z		6 汚染拡大防止	番号	0 2 - 0 8 - 0 3					
()			7 その他							
内 容		1 ~ 4 号機 建屋内滞留残水排水設備設置における被ばく低減								
作業場所		3 号機タービン建屋サービスエリア								
概 略		地下階は、高線量かつ滯留水があり、人力による作業が困難であるため、遠隔工法による筋肉ロボットを採用し、操作エリアは低線量エリアに設置した。								
評 価 (定性・定量)	効 果			対策前	対策後					
		線量率 (mSv/h)		0.40	0.013					
		人工数(人日)		—	—					
事例詳細		低線量エリアに筋肉ロボット操作エリアを設置した。								
 <p>インストールエリア ~0.40mSv/h</p> <p>操作エリア</p> <p>ロボット稼働エリア 50mSv</p>										
<p style="text-align: center;">ロボットは低線量エリアに設定した本部で操作</p>  <p style="text-align: center;">操作エリア : ~0.013mSv/h</p> <p style="text-align: center; background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px;">操作者の被ばく線量低減</p>										